

「あきぎんNEXTファンド」による支援決定 ～株式会社男鹿なまはげ魚工房への支援について～

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、投資専門子会社である株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ（代表取締役 石川 聡）が運営するあきぎんNEXT投資事業有限責任組合（通称：あきぎんNEXTファンド）を通じて、株式会社男鹿なまはげ魚工房（代表取締役 澤村 誉）に投資実行したことをお知らせいたします。本ファンドによる投資実行は、本件が第9号となります。

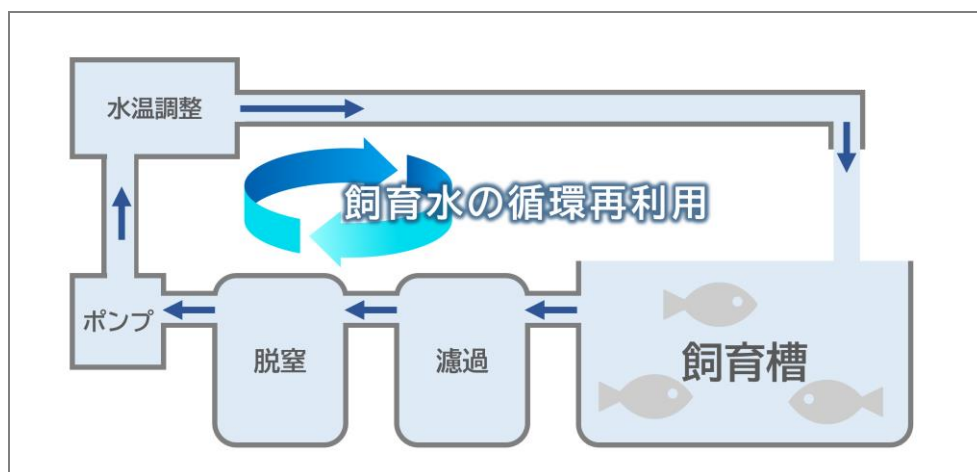
当行グループでは、本ファンドの成長資金の供給を通じて、社会課題の解決のため秋田で新たなビジネスに挑戦する企業を積極的に支援し、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

記

1 株式会社男鹿なまはげ魚工房について

- (1) 当社は、経営株主となる東日本電信電話株式会社（以下、「NTT東日本」という。）、株式会社秋田魁新報社、ならびに男鹿市を中心とした地元の水産事業者（武田水産株式会社、有限会社台島大謀、株式会社瑤光水産、株式会社金森水産、三宝食品株式会社）が設立した陸上養殖事業者であり、男鹿市の夕日温泉WAO（2024年3月閉館）を利活用して、閉鎖循環式陸上養殖プラントを建設・運営します。
- (2) NTT東日本では、国内で陸上養殖事業の実証に取り組んでおり、本事業により陸上養殖事業を商業化フェーズに乗せて、男鹿市のブランド養殖魚の創出および生産・流通・加工・販売を含めた新たな産業化を目指しています。
- (3) 陸上養殖は、陸上に設けた人工的な施設で水産物を養殖する方法であり、天候や環境に左右されないため安定的な生産が可能であり、漁獲量減少といった漁業分野の課題解決策として注目されています。このたび男鹿市で展開される陸上養殖は、NTT東日本が得意とするICTやネットワーク活用により生産効率化や省人化のモデルケースとして全国に先駆けた取組みとなることが期待されています。

（閉鎖循環式陸上養殖プラントのイメージ図）



2 出資先の概要

投資先名	株式会社男鹿なまはげ魚工房
代 表 者	澤村 誉
住 所	秋田県男鹿市野石大場沢下 1-17
事業内容	陸上養殖による水産物の生産・加工・販売 ブランド化に向けたプロモーション活動

3 出資内容

出 資 日	2024 年 1 2 月 6 日（金）
出資形態	第三者割当による株式の引受け
投資金額	非公表

4 当ファンドの概要

名 称	あきぎん N E X T 投資事業有限責任組合（通称 あきぎん N E X T ファンド）
ファンド総額	1 0 億円
出 資 者	有限責任組合員（L P） 株式会社秋田銀行 無限責任組合員（G P） 株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ
存続期間	約 1 0 年間
設 立 日	2023 年 8 月 1 日（火）
投資対象	○ 創業・起業期および創業・起業 10 年未満の企業、第二創業・新事業を展開する企業 ○ 地域に欠かせない技術・顧客基盤等を有し、事業承継の課題を抱えている企業 ○ 地域活性化に資する事業を行っている企業

5 投資実行先一覧

	企業名	事業内容
第 1 号	Cranebio 株式会社	フェムテック製品の開発・製造
第 2 号	発酵パーク株式会社	まちづくりに関するサービス提供、宿泊業
第 3 号	双日由利農人株式会社	タマネギ生産にかかる営農サポート
第 4 号	事業承継案件（非公表）	
第 5 号	TOYOSHIMA FARM 株式会社	ブドウ栽培、ワイン醸造
第 6 号	株式会社このほし	森林資源活用コンサルティング
第 7 号	新製品開発案件（非公表）	
第 8 号	株式会社エナーバンク	脱炭素化支援サービス

（以 上）



SDG s (Sustainable Development Goals)

2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。